

令和2年度

事務事業評価表（令和元年度の実績評価）

記入年月日
令和2年4月15日

事務事業名		高齢者生きがいと健康づくり推進事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010601000006
						単独/補助	補助		
政策体系上の位置付け						所属課			
総合計画の施策名		0106 高齢者福祉の推進				040501			
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり				高齡福祉課			
施策名		06 高齢者福祉の推進				課長名			
手段名		01 ①高齢者の生きがいづくりの推進				グループ			
						地域包括支援グループ			
						担当者名			
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目						単年度繰返し（年度～）			
06 05 01 80 01 00						介護保険特別会計			
						一般介護予防事業			
法令根拠						→ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入			
介護保険法									

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要（事務事業の全体像）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
おおむね65歳以上の高齢者が豊かな経験、知識、技能を生かすことで生きがいを促進し、閉じこもり及び要介護状態になることを予防するため、趣味講座（陶芸教室、竹細工教室等）・教養講座（しあわせ教室）・交流会（文化祭、芸能発表会）、介護予防教室（筋力あつぷ教室、元気はつらつ教室）等を岩瀬福祉センター・真壁福祉センターを会場として実施している。事業の実施については、桜川市社会福祉協議会に委託している。	【担当者が行う業務の内容】 事業内容の検討、委託料の検討、委託契約事務、委託費の支払・清算事務、活動実績の集計

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	30年度（実績）	01年度（実績）	02年度（計画）	03年度（目標）	04年度（目標）
事業内容の検討、委託料の検討、委託契約事務、委託費の支払・清算事務、活動実績の集計	開設講座数	回	27.00	27.00	27.00	27.00	27.00
	開催講座及び教室延べ数	回	550.00	465.00	550.00	550.00	550.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	30年度（実績）	01年度（実績）	02年度（計画）	03年度（目標）	04年度（目標）
おおむね65歳以上の高齢者	高齢者人口（65歳以上）	人	13,278.00	13,408.00	13,505.00	13,557.00	13,608.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	30年度（実績）	01年度（実績）	02年度（計画）	03年度（目標）	04年度（目標）
閉じこもり防止と健康維持を図る。	参加者数	人	5,000.00	4,100.00	5,200.00	5,300.00	53,000.00
	生きがいを感じている高齢者の割合	%	72.00	67.10	69.00	71.00	72.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移		30年度（実績）	01年度（実績）	02年度（計画）		期間限定総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	2,500	2,400	1,888	0
		県支出金	千円	1,250	1,200	944	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	5,000	4,801	3,774	0
		一般財源	千円	1,250	1,200	944	0
		事業費計（A）	千円	10,000	9,601	7,550	0
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

		01年度事業費 実績（千円）		02年度事業費 予算（千円）			
事業費の内訳	13 委託料	9,601		13 委託料		7,550	
		合計		9,601		合計	

事務事業名	高齢者生きがいと健康づくり推進事業	事務事業No.	10601000006	所属課	高齢福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、介護予防を目的として合併前より実施されていた。平成18年からは地域支援事業の一つとして、国・県の補助金対象事業になった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 高齢者の生きがいを促進し、閉じこもり予防・孤独感の解消を目的としているため、高齢者福祉の推進に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 高齢者が事業に参加し、豊かな経験知識技能を活かすことにより、生きがいづくりを促進することは、高齢者の生きがいづくりの推進になることから妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 高齢者人口が増加する中、個人の趣味活動も多様化しているが、新規の参加者及び企画をすることで成果の向上余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 高齢者の生きがいを促進することが介護予防及び健康寿命の延伸につながるため、廃止すると要介護認定率が増加すると予想される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業がないため、統廃合・連携はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 会場代以外はすべて受講者負担としているため、これ以上の事業費削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 対象者は市内に在住する高齢者を対象としており、受講を希望する者が参加しているため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	国の制度改革に伴い、現行事業の見直しと新たな介護予防事業を構築を目指し、検討・協議を行い、利用者の合意形成も行った。これにより平成29年度より新たな事業内容の着手と事業費の見直しとなったが、令和2年度に再度事業の内容、事業費の見直しを行った。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 参加の周知を行っているが新たな参加者の確保が難しく、周知方法の検討が必要である。また事業の内容が参加者の閉じこもり防止や介護予防に効果があったかアンケートを行い教室内容の評価を行っていく。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上					維持		○			低下				
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上																										
維持		○																								
低下																										
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ⑤																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A : 継続 (現状維持) C : 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B : 継続 (改革改善を行う) D : 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>